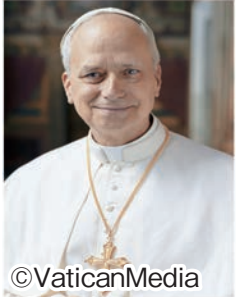


カトリック

新潟教区報



レオ14世新教皇選出 「平和が皆さんとともに」



©VaticanMedia

5月8日、教皇選挙が始まって二日目、カトリック教会はロバート・フランシス・プレヴォスト枢機卿を新教皇としていただきました。聖ペトロ広場に世界中から集まった人々に向けて語った最初の言葉は、「平和が皆さんとともに」。混沌としたこの世界に向けて、復活のイエスが弟子たちに語りかけた言葉を用い、平和の挨拶を送られました。

教皇レオ14世はアメリカ合衆国出身のアウグスチノ会会員で、司祭として、また司教として20年ほどペルーで働かれました。教皇選出後の最初の挨拶はイタリア語で行われましたが、その途中、「すみませんが愛するチクラヨ教区（ペルー）の皆さんにひと言挨拶させてください」とスペイン語で語られました。その時の表情が、愛する家族に語りかけるような実に良い笑顔だったのが印象的でした。また、教皇はアウグスチノ会の総会長を2期12年務められ、またバチカンでは司教省長官として働かれました。ペルーの地方で貧しく困難にある人々とともに歩み、世界で働く宣教師たちの働きを調整し、バチカンで教会全体のために奉仕された経験は、教皇としてのお働きを豊かにするに違いありません。

聖ペトロの後継者として教皇レオ14世を与えてくださった神に感謝するとともに、この重責を受けてくださった教皇に神の豊かな祝福がありますようお祈りいたしましょう。また私たちが、教皇と全世界の人々とともに、キリストの福音の道をともに歩んでいく決意を新たに致しましょう。



©VaticanMedia

教皇フランシスコは、2025年4月21日、復活の月曜日にバチカンにてこの世の旅路を終え、神のもとへと旅立たれました。88歳でした。教皇フランシスコは、その素朴で真っ直ぐな人柄、温かく心に届くメッセージ、改革に向けた力強い取

教皇フランシスコの逝去にあたり

新潟教区司教 パウロ 成井 大介

り組みで2013年から12年にわたって教会のみならず、世界のために奉仕してくださいました。そのお働きに感謝し、永遠の安息をお祈りいたしましょう。以下、新潟教区として行った教皇追悼ミサの説教の要約です。

2013年、コンクラーベで選出された教皇が、聖ペトロ広場のバルコニーから大群衆に向かって最初に発した言葉は「Buona sera（こんばんは）」でした。まるで、道で会った近所の友人に挨拶をするような言葉です。そして、教皇としての最後

の言葉も、やはり聖ペトロ広場のバルコニーからでした。4月20日、復活の主日のメッセージで、息絶え絶えに、絞り出すような声で仰った「父と、子と、聖霊の祝福が皆さんの上にありますように」です。この最初と最後の二つの言葉は、教皇フランシスコの素朴で気さくな人柄と、ただひたすら神のいっくしみを人々に示し続ける一途な姿の両方をとてもよく表していると私は思います。

教皇として、アッシジの聖フランシスコの名前をいただいたことに、その教皇としての姿勢が表されています。謙虚であること。自分自身が貧しく生きること。貧しく、虐げられている人に奉仕すること。平和のために行動すること。自然を含め、神が造られたこの世界すべてを大切にすること。すべての人の間の兄弟愛。イスラム教をはじめ、他宗教との対話を深め、ともに歩むこと。こうした、教皇が追及してきた生き方や取り組みは、まさにアッシジの聖フランシスコの特徴そのものです。

多方面で活躍された教皇フランシスコですが、その人柄は実に素朴で、地に足がついた、何よりいっくしみに満ちた方でした。私自身、2度ほどお目にかかって感じましたが、彼は全く教皇としての威厳を感じさせず、暖かく、ユーモアがあり、いっくしみに満ちた笑顔で目を見て話してくださいます。教皇のことをPapaと呼びますが、まさにお父さん、おじいちゃんといった雰囲気です。

教皇フランシスコが取り組んだ、様々な活動を貫く、揺るがない柱の

ようなものがあります。それは、神のいっくしみを証しするということです。2015年、教皇に選出されて2年後、教皇フランシスコはいっくしみの特別聖年を実施しました。その開催を公布した大勅書に、教皇は次のように書いています。

「教会の生命を支える柱は、いっくしみです。教会の司牧行為は、すべてが優しさに包まれていなければなりません。優しさをもって信者に語りかけるのです。教会が世に向けて語るどんなメッセージにもどんなあかしにも、いっくしみが欠けていてはなりません。教会の真正さは、いっくしみと思いやりにあふれた愛の道を通るものです。教会は、「いっくしみを示したいという尽きない望みを抱いています」。(『イエス・キリスト、父のいっくしみのみ顔』、10項)

教皇はまさに、神の愛といっくしみを受け、喜びと平和に満たされること、そして人々の間で互いにいっくしみ深い者となることを自らがまず徹底的に実践し、そして人々に呼びかけたのです。

教皇は、私たちに挑戦します。あなたも、神のいっくしみを自分の生活の中で表しなさい、と。どうか、私たちが、自分にいっくしみを注がれる神に信頼することができまうに。そして、教皇の呼びかけに応え、神のいっくしみの証し人として歩みを進めていくことができますように。神よ、私たちの歩みを導き、祝福してください。

教区と地区の組織体制について



新潟教区司教 パウロ 成井 大介

教区で、信徒も、修道者も、司祭も、司教もともにシノドスの精神で歩んでいくために、どのような組織体制が望ましいのでしょうか？

これまでの体制

これまでの組織体制では、すべての立場の信者が参加する教区全体としての枠組みは、宣教司牧評議会だけでした。宣教司牧評議会には、各地区からの司祭、修道者、信徒代表が参加しており、対等な立場で教区全体のことにについて意見を交わし、司教に提言してきました。ところが、宣教司牧評議会は年に1回だけの開催で、そしてそこで話されたことが地区や小教区、また教区の諸委員会になかなか伝わらないという状況がありました。小教区や地区の意

見を教区レベルに持つていく機会も限られていました。

第2バチカン公会議以降、信徒使徒職協議会が発足し、様々な信徒使徒職団体が協議する場となり、また地区、教区の運営に携わってきました。信徒が中心になって行われる教会活動は素晴らしいものですし、これからも続けたいと思いますが、信徒使徒職団体の数が激減し、信徒使徒職協議会の実質、地区運営と教会大会の実施を担う集まりとなつていきます。地区によってそのあり方は様々で、場合によって司祭があまり参加せずに地区運営がされていることもあります。

新体制

そこで、宣教司牧評議会を、教区全体を代表する枠組みとしてそのまま据え置き、その下に諸委員会を置くことにしました。諸委員会には、宣教司牧評議会の評議員が委員として

に参加します。また、地区運営を、新たに「地区協議会」という名で、各小教区からの代表、地区長、地区で司牧を行うすべての司祭、当該地区からの宣教司牧評議会評議員がメンバーとなつて行うこととしました。これにより、小教区、地区、教区の運営につながりが生まれ、より一体感を持った取り組みが期待されます。詳しくは、また改めてお知らせいたします。どうか祈りのうちに、新たな一歩をとともに踏み出していただけるよう、お願い致します。

司教諮問機関

- 宣教司牧評議会 ● 司祭評議会 ● 経済問題諮問委員会 ● 建設・共済委員会 ● 諸委員会（すべて宣教司牧評議会の下に置かれる）
- 宣教司牧推進委員会 ● 養成委員会 ● 諸文化の交わり委員会 ● 青少年委員会 ● カリタス委員会 ● 一粒会

ている点が挙げられます。

日本のカトリック教会が「シノドスの教会」となるために、①体験の教会、②集う教会、③誰も排除されない教会、④祝福し合う教会という4つの方向性が提言され、今後取り組むこととなります。

今回の講座は、菊地枢機卿様からシノドスの取り組みについて直接お話を伺う貴重な機会となりました。



「他者と神のためにスペースを開く」

新潟地区信仰養成講座開催

菊地枢機卿をお迎えして

新潟地区協事務局 坂口 淳

2025年2月15日、新潟教会聖堂において、新潟地区として最後の「信仰養成講座」が開催されました。参加者は約60名でした。講師には、2024年10月に枢機卿に任命された菊地功枢機卿様をお迎えしました。

講座の演題は「宣教するシノドスの教会になる」で、2024年10月に開催されたシノドスについてお話しいただきました。このシノドスは、聖霊の声に耳を傾けながら教会の本質を見つめ直し、神の望む教会の姿を共に識別していくための会議です。教皇フランシスコは「シノドス性

とは現代における神が望まれる教会であるための道です。それは聖霊の声に、一緒になって耳を傾け識別する動きです。」と述べられており、今回のシノドスはまさにこの言葉を実践するものでした。

このシノドスは2021年から2025年にかけて、世界各地の教区での対話を出発点に、大陸別シノドス、ローマでの2回の会議へと段階的に進められています。「霊における会話」という方法に基づき、「個人の準備」「発言し、耳を傾ける」「他者と神のためにスペースを開く」

司祭人事

（ ）内はこれまでの任務地
4月1日付

《秋田地区》

▲土崎教会主任 篠崎エジソン師（秋田教会主任）●神言修道会

▲本荘教会主任・土崎教会協力新立大輔師（土崎教会・本荘教会助任）●神言修道会

▲秋田教会助任 トランフオンナム師（東京教区吉祥寺教会助任）●神言修道会

《山形地区》

▲米沢教会（長井巡回教会）主任（山形教会（新庄巡回教会）主任兼任）スリワルヨ師（山形教会（新庄巡回教会）主任）●イエズス・マリアの聖心会

▲鶴岡教会主任・酒田教会主任バルバロナネルソンアブライ師（長崎教区西町教会助任）●神言修道会

《教区外への異動》

イグナシウスクリスティアヌスバサ師（土崎教会主任・本荘教会主任）●神言修道会

グエンタンヒ師（大館教会主任・鹿角教会助任）●神言修道会

フレデリックラウリシオ師（米沢教会（長井巡回教会）主任）●神言修道会

楊成源師（鶴岡教会主任・酒田教会主任）●神言修道会

ひとりて悩まずわたしたちに相談ください

カトリック新潟教区 セクシャル・ハラスメント相談窓口
司祭・修道者による未成年者性虐待とセクシャル・ハラスメントについての窓口です

TEL 0800-8912-8758
受付 毎週火曜日 13:00-14:00
（除く祝祭日）

新潟教区

2024年度

決算報告

2024年度の「小教区一般会計」と「教区本部会計」の決算が宗教法人責任役員会、顧問会、司祭評議会で承認されましたので報告させていただきます。

小教区会計の収支状況

小教区の一般会計は収入合計から支出合計を差引いた収支差額が807万円のマイナス（赤字）で、前年度に比べ615万円赤字が増加しております。主な要因は多くの教会で老朽化した施設設備の修繕や什器備品の更新を行ったことによるものです。巡回教会を含めた35教会のうち15の教会で単年度経常収支が赤字となっており、各教会の財政は依然として厳しい状況が続いております。

一方、新型コロナウイルス感染症が通年で5類に移行したこと、外国籍の信徒が増加傾向にあること等から、ミサ献金収入は前年度比413万円増加しており改善の兆しも見受けられます。

教区本部会計の収支状況

一般会計に含まれている司祭人件費等収支額と一粒会収支額を差引いた実質収支額は前年度並みで90万円の黒字となりました。また、司祭人件費等収支額も739万円の黒字となりましたが、これは前年度同様大口の寄付金収入があったことによるもので、寄付金等の特殊要因を除いた場合、300万円を超える赤字となり、依然として小教区からの司祭活動負担金と司祭からの寄付金で司祭の人件費が賄えていない状況にあります。

「一粒会会計」、「建設共済基金会計」、「指定献金・特別献金集計」の決算状況は別表のとおりです。

新潟教区事務局では昨年度からおよそ15年ぶりの会計担当者説明会を各地区において実施し、この中で、教区維持費負担金の計算方法を2026年度から見直すことや、司祭給与制度の維持と司祭給与制度導入拡大に伴う司祭活動負担金の協力依頼等について説明をさせていただきました。

説明会では各教会から厳しい財政状況等について多々ご意見をいただきました。お聞きした貴重なご意見は経済問題諮問委員会や建設共済委員会等で更に検討をさせていただきます。

日本全体が高齢化社会にある中、新潟教区は特に高齢化率の高い傾向にある県で構成されており、信徒数の減少に加え昨今の諸物価高騰により、各小教区を始め教区本部の財政運営は厳しい状況が続いております。引き続き信徒の皆様からのご協力とご支援をお願いいたします。

（教区事務局長 大瀧浩一）

2024年度 教区本部一般会計収支決算書

自. 2024年1月1日
至. 2024年12月31日

(単位：千円)

項 目	2024年度決算	2023年度決算	前年度増減額
負担金収入	27,790	24,735	3,055
教区負担金（教区維持費）	8,668	8,711	-43
司祭活動負担金	14,225	11,147	3,078
一粒会負担金	3,217	3,197	20
学校法人	1,680	1,680	0
寄付金収入	25,800	22,906	2,894
司祭寄付金	20,250	17,600	2,650
一般・特別寄付金	5,550	5,306	244
献金収入	962	711	251
その他の収入	1,114	1,149	-35
収入合計	55,666	49,501	6,165
宗教活動費	5,447	3,788	1,659
神学生養成費	1,436	1,603	-167
祭儀費、寄付金 等	4,011	2,185	1,826
事務運営費	6,162	6,931	-769
人件費	31,981	31,371	610
司祭・職員給料	27,013	26,488	525
法定福利費	3,467	3,304	163
その他	1,501	1,579	-78
その他の支出	2,004	1,104	900
支出合計	45,594	43,194	2,400
①収支差額	10,072	6,307	3,765

< 一般会計に含まれている特別会計 司祭寄付金等と司祭人件費 >

司祭寄付金・司祭活動負担金（収入）	34,635	28,747	5,888
司祭人件費（含法定福利費）（支出）	27,246	24,882	2,364
②司祭人件費等収支額	7,389	3,865	3,524

< 一般会計に含まれている特別会計 一粒会負担金と神学生養成費 >

一粒会負担金等（収入）	3,217	3,197	20
神学生養成費（支出）	1,410	1,560	-150
地区鍊成会等補助（支出）	26	43	-17
③一粒会収支額	1,781	1,594	187
一般会計実質収支額(①－②－③)	902	848	54

2024年度 小教区一般会計収支決算書

自. 2024年1月1日
至. 2024年12月31日

(単位：千円)

項 目	2024年度決算	2023年度決算	前年度増減額
献金収入	72,387	70,969	1,418
教会維持費収入	34,186	35,744	-1,558
ミサ献金収入	23,368	19,242	4,126
一般・臨時献金収入	6,888	6,385	503
祭儀献金収入	3,549	5,029	-1,480
司祭活動献金収入	4,396	4,569	-173
指定献金収入	4,208	4,449	-241
一粒会献金収入	3,095	3,187	-92
寄付金収入	36,129	16,666	19,463
事業収入	474	475	-1
その他の経常収入	2,527	2,784	-257
経常収入計	118,820	98,530	20,290
財務収入	18,417	4,642	13,775
収入合計	137,237	103,172	34,065
宗教活動費	38,300	38,772	-472
指定献金支出	4,227	4,430	-203
一粒会献金支出	3,180	3,235	-55
事務運営費	31,916	30,761	1,155
人件費	2,438	2,419	19
維持管理費	30,018	14,926	15,092
事業支出	—	6	-6
その他の経常支出	34	372	-338
経常支出計	110,113	94,921	15,192
財務支出	35,189	10,169	25,020
支出合計	145,302	105,090	40,212
収支差額	-8,065	-1,918	-6,147
次期繰越金	88,232	96,297	-8,065

特別会計次期繰越金	2024年度決算	2023年度決算	前年度増減額
建設・補修等積立金	259,734	253,121	6,613
その他の積立金	70,754	71,806	-1,052
繰越金総合計	418,720	421,224	-2,504

2024年度 指定献金・特別献金集計表			2024年度 一粒会会計収支状況		
(単位：千円)			(単位：千円)		
項 目	2024年度	2023年度	項 目	2024年度	2023年度
世界こども助け合いの日献金	554	571	前年度繰越残高	51,020	48,918
教区青少年の日献金	259	206	一粒会費収入額	3,217	3,197
聖地のための献金	187	196	その他収入	－	－
四旬節愛の献金	1,094	1,176	収入額計 ①	3,217	3,197
世界広報の日献金	272	205	神学生養成費	1,410	1,560
聖ペトロ使徒座への献金	316	285	錬成会等補助	26	43
世界難民移住移動者の日献金	312	302	支出額計 ②	1,436	1,603
世界宣教の日献金	282	263	収支残高 ①-②	1,781	1,594
宣教地召命促進の日献金	419	347	宣教地召命促進の日献金教区組入額	319	247
合 計	3,695	3,551	資金運用利息	193	261
			次年度繰越残高	53,313	51,020

2024年度 建設・共済基金収支決算書		
自. 2024年1月1日		
至. 2024年12月31日		
(単位：千円)		

支 出 の 部			収 入 の 部		
科 目	2024年度決算	2023年度決算	科 目	2024年度決算	2023年度決算
会議費	－	－	小教区負担金	1,430	1,499
旅費交通費	－	－	貸付金利息	158	193
事務委託費	150	150	受取利息	6	1
支払手数料	3	1	配当・分配金	431	910
補助金	61	－			
経 常 支 出 計	214	151	経 常 収 入 計	2,025	2,603
当 期 末 貸 付 金 残 高	48,130	62,060	前 期 末 貸 付 金 残 高	62,060	71,743
当 期 末 現 金 預 金 残 高	151,369	135,628	前 期 末 現 金 預 金 残 高	135,628	123,493
合 計	199,713	197,839	合 計	199,713	197,839

2024年度							
教 会 名		信徒数	洗 礼 成 人		堅 信	結 婚 ^{注1}	入信志願者
1	青 山	245			6		
2	亀 田	72					
3	佐 渡	58					
4	新発田(村上)	272			1		
5	白 根	16					
6	寺 尾	152			5		
7	新 潟	560	1	4	1	2	2
8	新津(村松)	144					
9	花 園	195	1				
10	鳥 屋 野	66	1				
下越地区計		1,780	3	4	13	2	2
11	加 茂	41					
12	三 条	128	1	1			
13	栃 尾	17					
14	長 岡	383	4	2		3	1
15	見 附	135					
中越地区計		704	5	3	0	3	1
16	糸 魚 川	167	1				1
17	柏 崎	365			1		
18	高田(妙高)	804	3	5	14	1	2
19	十 日 町	121			1	1	
20	直 江 津	129					
上越地区計		1,586	4	5	16	2	3
新潟県合計		4,070	12	12	29	7	6
31	酒 田	41					
32	鶴 岡	196	2	1	2		
33	山形(新庄)	572	2	2	2	1	1
34	米沢(長井)	124					
山形地区計		933	4	3	4	1	1
41	秋 田 ^{注2}	984	1	2	2	2	5
42	大 館	70	2	1	1	1	1
43	鹿 角	19					
44	土 崎	265	1			1	1
45	能 代	20					
46	本 荘	43					
47	横手(上宿)	180					
秋田地区計		1,581	4	3	3	4	7
新潟教区計		6,584	20	18	36	12	14
教役者・信徒							
信者総数		6,656	…教役者数72名＋一般信徒6,584名				

注1. 結婚：信者同士、信者と他キリ、信者と非キリのみ。
注2. 秋田教会には、聖体奉仕会シスターの人数（14名）が含まれています。

聖職者数	72	←司祭30、シスター42（修道会・在俗会）
------	----	-----------------------

新 潟 司 教 区 統 計	
(2024年12月31日現在)	
1. 概 要	
(教区人口比：0.165%)	
面 積 …………… 33,544.34Km ²	信者総数 …………… 6,584人
人 口 …………… 3,994,024人	入信志願者 …………… 14人
2. 人 員 構 成	
司 教 …………… 1人	聖霊奉持布教修道女会 邦 人 …… 3人
教区司祭 邦 人 …………… 12人	外国人 …… 1人
外国人 …………… 2人	聖心の布教姉妹会 邦 人 … 22人
神言会員 邦 人 …………… 3人	オタワ愛徳修道女会 邦 人 …… 2人
外国人 …………… 10人	聖クララ会 邦 人 …… 9人
フランススコ会員 邦 人 …… 1人	聖マリア在俗会 邦 人 …… 5人
イエズス・マリアの聖心会員 邦 人 …… 1人	聖体奉仕会 邦 人 … 14人
他教区から派遣司祭 邦 人 …… 0人	
教区神学生 邦 人 …… 0人	
3. 事 業 (2022年より認定こども園対応)	
小教区教会 …………… 30	教育事業（幼稚園を除く）
分教会・巡回教会 …………… 5	女子中学校 …………… 1校
集会所 …………… 2	生徒数 …………… 54人
女子修道院（在俗会含む） …… 6	女子高等学校 …………… 2校
	生徒数 …………… 588人
社会福祉事業（保育所等を除く）	短期大学（女子短大1、短大1） …… 2校
老人ホーム …………… 4施設	学生数 …………… 395人
宿泊を伴う利用者数 … 279人	
その他の老人福祉事業 …… 9施設	子ども福祉・教育事業
宿泊を伴う利用者数 … 110人	保育所 …………… 3施設
宿泊を伴わない年間のべ利用者数 …………… 23,501人	園児数 …………… 180人
その他の福祉事業 …………… 4施設	幼稚園 …………… 2施設
宿泊を伴う利用者数 …… 47人	園児数 …………… 143人
宿泊を伴わない年間のべ利用者数 …………… 0人	認定こども園 …………… 25施設
	園児数 …………… 2,224人
	その他の児童福祉事業 …… 8施設
	宿泊を伴う利用者数 …… 145人
	宿泊を伴わない利用者数 …… 0人
4. 移 動	
教区内から転入 …………… 4人	教区内へ転出 …………… 5人
教区外から転入 …………… 16人	教区外へ転出 …………… 15人
その他転入 …………… 12人	その他転出 …………… 1人
	死 亡 …………… 57人